

まちづくり交付金 事後評価シート  
健康づくり拠点地区

平成27年2月

静岡県長泉町

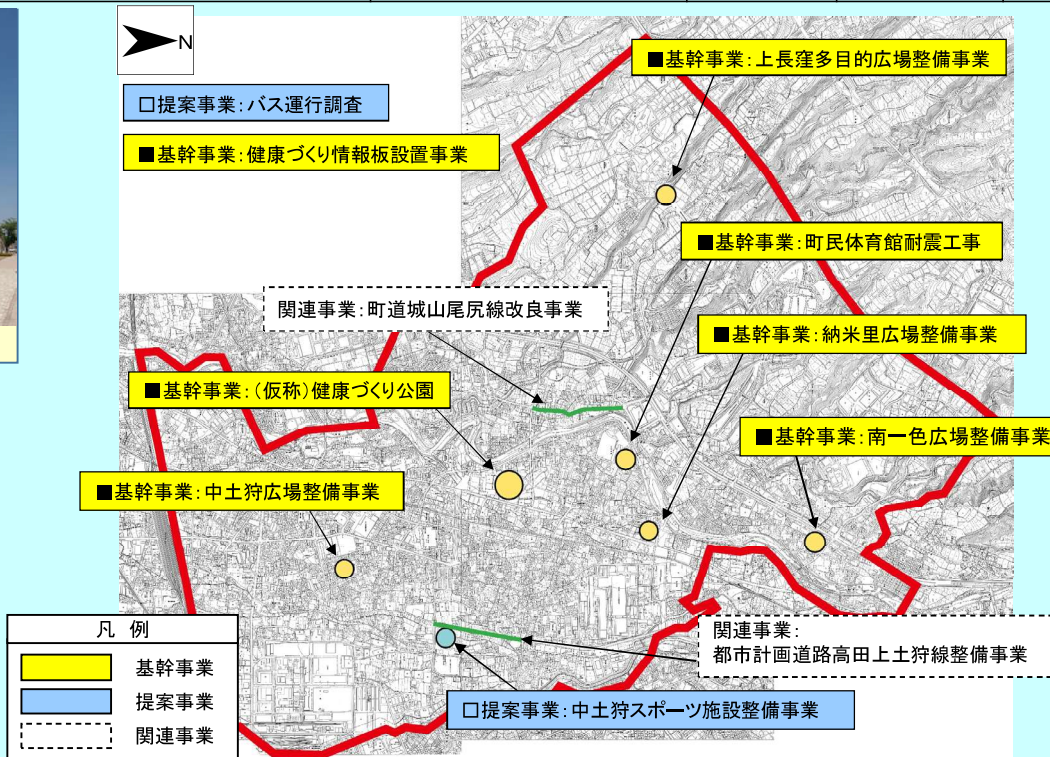
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	長泉町	地区名	健康づくり拠点地区	面積	900ha								
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	5495(百万円) 国費率 2198(百万円)										
1) 事業の実施状況	事業名														
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園((仮称)健康づくり公園)、地域生活基盤施設(上長窪多目的広場整備事業、広場整備事業(中土狩・納米里)、町民体育館耐震事業、健康づくり情報案内板設置事業)												
		提案事業	地域創造支援事業(中土狩スポーツ施設整備事業、健康づくり指導者育成事業)、事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(バス運行調査)												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場整備事業(中土狩・納米里))	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響									
		提案事業	地域創造支援事業(健康づくり指導者育成事業) 事業活用調査(事業効果分析調査)	・地域生活基盤施設(中土狩広場整備事業、納米里広場整備事業)事業へ名称変更、事業規模及び事業費の変更。 ・提案事業から厚生労働省が所管する関連事業へと変更。 ・当初計画から計画変更して削除。		-									
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(中土狩広場整備事業、納米里広場整備事業) 地域生活基盤施設(南一色広場整備事業)	・地域生活基盤施設(広場整備事業(中土狩・納米里))事業の名称変更、事業規模及び事業費の変更により追加。 ・健康づくり施設の充実を図るために追加。		-									
提案事業		-	-		-										
交付期間の変更	当初変更	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ					
	指標1	健康づくり拠点施設利用者数	人/年	62,000	H20年度	80,000	H25年度	モニタリング	評価値	167.855	○	あり	●	健康づくり拠点施設として、「ウェルシアながいずみ」がオープンし、運動諸施設と保健センター機能の複合化がなされたことによる利便性の向上と周辺道路整備等によるアクセス性の強化によって、目標値を大幅に上回った。	-
	指標2	地域スポーツクラブの会員数	人	0	H20年度	200	H25年度			1,094	○	あり	●	「ウェルシアながいずみ」での利用を中心に教室事業がさらに充実したことや健康づくり指導者育成事業による健康づくり支援との相乗効果で、目標値の達成につながった。	-
	指標3	健康のために運動している人	%	48	H18年度	55	H26年度			56	○	あり	●	健康公園の完成のほか、ウォーキングコースに情報案内板を設置したことや広場整備等との相乗効果により、地区住民の健康づくりに対する意識が高まり、目標値の達成につながった。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ					
	その他の数値指標1	運動習慣の有無	%	22.5	H24年度	/	/	モニタリング	評価値	24.0	/	/	●	健康公園の完成のほか、健康づくり情報案内板の設置、広場整備等との相乗効果により、健康づくりに対する意識が高まった結果だと言える。	-
その他の数値指標2	ウォーキング実施日数(週3日以上)	%	17.9	H24年度	/	/			20.9	/	/	●	健康公園を中心としたウォーキングコースに情報案内板を設置することで、ウォーキング環境が向上した結果だと言える。	-	
4) 定性的な効果発現状況	<p>■町政アンケートモニター 第4回アンケート結果より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しいアリーナは、空調が効いており、安心して小さな子どもを教室に通わせることができ感謝しています。</li> <li>よく使っています。快適でありがたく思っています。今後も活用したいです。</li> </ul> <p>■施設利用者アンケート(H25.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インストラクターの人たちが親切なので、自分なりに決めて通ってみようと思える。</li> <li>指導員が親切で満足です。</li> <li>料金が手ごろで通いやすく、指導員さんが明るいとまた行きたくなる。</li> <li>週2～3回のペースで利用させてもらっています。いつも笑顔で対応してくれるので、毎回頑張ろうと思えます。これからもよろしくお願いします。</li> <li>週1始めて少しはちますが、スタッフの皆さんがとてもよく接してくださって、楽しく体をきたえられています。今後も継続して通おうと思います。いつもありがとうございます。</li> <li>利用料金が安いので、気軽にトレーニングでき、満足しています。ぜひ維持していただきたいです。</li> </ul>														
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等										
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		-	-									
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		-	-									
持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人長泉町体育協会と協働し、スポーツの振興と健康づくりの促進のため、総合型地域スポーツクラブ(ながいずみ健康わくわくクラブ)の設立と育成を図り、健康づくり拠点施設の充実を図ってきた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>		●	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、健康づくりの促進を図っていき、運動の継続方法やその仕組みづくりを研究するとともに、健康づくりに対する地域住民のニーズ把握に努め、スポーツ振興と健康づくりを促進していく。</li> </ul>									

## 様式2-2 地区の概要

### 健康づくり拠点地区(静岡県長泉町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
	大目標:住民一人ひとりが生涯を通じて健康な心と身体を育て、元気に暮らせるまちづくり 目標1:地域住民の主体的な健康づくり活動、ハード・ソフト両面からの健康への関心を高めるまちづくりを推進する。 目標2:地域資源を活用し、地域性を生かした快適で、機能的なまちづくりを推進する。 目標3:ウォーキングを推進し、歩いて暮らせることができる安全・安心なまちづくりを実現する。	健康づくり拠点施設利用者数	単位:人/年	62,000 H20	8,000 H25
地域スポーツクラブの会員数		単位:人	0 H20	200 H25	1,094 H25
健康のために運動している人		単位:%	48 H18	55 H25	56 H26
運動習慣の有無		単位:%	22.5 H24	—	24.0 H25
ウォーキング実施日数(週3日以上)		単位:%	17.9 H24	—	20.9 H25



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種運動施設と保健センター機能が複合化し、運動・スポーツと保健衛生関連が運動した健康公園が整備されたことで、地域住民の生活習慣病予防や健康づくりを推進する拠点ができた。</li> <li>町道や幹線道路の整備を行い、町内主要施設や他地域へのアクセス性の向上と歩行者の安全性の向上を図ることができた。</li> <li>健康公園を核として、ウォーキングコースとなっている道路やスポーツができる身近な広場を整備したことで、だれでも、いつでも、いつまでも運動ができる環境が創出された。(ハード面)</li> <li>地域の公民館を会場に、生活習慣病を予防するための運動を中心とした健康づくり事業や総合型地域スポーツクラブの教室事業などを実施し、運動・健康に関する推進、支援体制が整った。(ソフト面)</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりのライフステージに応じた運動やスポーツに親しめるまちとして、健康公園を核とした、日常的な健康づくり及び運動・スポーツ環境のさらなる強化を図る。</li> <li>ウォーキングによる健康づくりの促進のため、誰にとっても安全で安心な歩行者空間の強化を図るとともに、日ごろの暮らしの中でも歩きたくなるような歩行者空間を創出することで、歩行者優先のまちづくりを推進していく。</li> <li>健康づくりの拠点が整備され、各種事業が実施しているものの、今後は運動やスポーツを継続させる方法・仕組みづくりなど取組みの強化を図る。</li> <li>各種道路事業によって、交通量が増加したため、今後は安全安心な道路・歩行者空間の向上に向け、交通安全に対する取組みの強化を図る。</li> </ul>